

学校と地域の動き



小・中学校が合同でボランティア活動

弁華別小・中学校

5月14日



小学校2年生以上の児童と中学校全生徒（児童生徒62名・教師20名）が野外ボランティア活動を実施しました。

小中学生が5班に分かれ、道路沿いに捨てられている空き缶、ペットボトル、紙類などのごみを分別しながら袋一杯に拾い集めました。

子どもたちは今回のボランティア活動を通し、住みよい地域づくりには、環境をきれいにすることが大切であることを学習しました。この活動に合わせて地域の安全や防犯について知ろうと河川や交差点、街灯の無い場所、廃屋などを見回ったほか「こども110番の家」の場所を確認しました。

これからは、保護者や地域の方々と一緒にこのような活動をする機会を作りたいと考えています。



「学び・体験・友情」3校合同修学旅行

蕨岱・弁華別・東裏小学校

5月11・12日



3校の小学校6年生13名が白老、伊達、洞爺、ルスツ方面へ修学旅行に行ってきました。

白老では、陶芸に挑戦。ろくろを使わない手びねり玉づくり法で湯飲みや茶碗、小鉢を作りました。出来上がりは、形がいびつだったり、指の後が残ったりしましたが、みんな手作りの面白さに満足した表情を浮かべていました。

また、伊達の北黄金貝塚では、遺跡の発掘を体験。丁寧に土を掘っていくと本物の縄文土器のかけらや石器、矢じりなどが出てきました。服の汚れも気にせず、夢中に掘っていた子もいて、見つけたときは、みんな満面の笑みがこぼれました。2日間集団で過ごした修学旅行は、小学校生活の思い出として児童たちの「心」に残っていくことでしょう。



明るい家庭と社会の実現を目指して 女性団体連絡協議会

5月10日



町女性団体連絡協議会の総会が開催されました。

この団体は、町内の女性で組織された、明るい家庭と社会の実現を目指して活動する団体です。毎年、生活情報を交換するために「女性の集い」を開催しているほか、去年は、子ども通学合宿のお手伝いで炊き出しもしました。

現在、3つの団体で活動していますが、もっと活動の輪を広げて行きたいと考えています。一緒に活動できる女性団体・グループの参加を呼びかけています。



犯罪から児童を守ろう 子ども待機スペース「オアシス」がスタート

5月9日



低学年の児童が安全に下校できる環境を整備しようと、町地域子ども教室実行委員会と西当別小学校が連携し、子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」を始めました。これは、学校の空き教室を利用して1年生から3年生までの児童が6年生の授業終了まで待機して一緒に下校する試みです。

初回の5月9日は、1・2年生20人が参加して地域ボランティアスタッフと一緒に輪投げや紙風船、将棋などを楽しみ、6年生の授業終了を待ちました。

一緒に活動するボランティアスタッフを募集中。

“食” シリーズ 平成17年度 給食野菜の使用状況



最近、『地産地消』という言葉がよく出てきますが、学校給食ではかなり前からこの考え方を取り入れています。地元の物を使うことで、地域の食文化を知る「食育」に生かし、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な食材の購入を目指しています。

17年度は、じゃが芋、南瓜、人参、胡瓜、トマトなど10品目を、米・もやし・とうもろこしは100%当別で取れたものを使用、その他には浅野農場（上当別）のおいしい豚肉を月1～2回使っています。平成17年度の野菜は69%が北海道産でまかなわれました。